

2023年2月28日

保護者の皆様へ
生徒の皆さんへ

尚綱学院中学校・高等学校
校長 村上 礼子

2022年度 学校生活に関する生徒・保護者アンケートについて（ご報告）

向春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年末に実施した学校生活に関する生徒・保護者アンケート調査について、多くの皆様からたくさんのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に活用し、学校のさらなる活性化を通して、キリスト教を土台とした人間教育を実践し、地域に開かれた特色ある学校づくりに努力してまいりたいと考えております。今後ともよろしくご支援のほどお願いいたします。

1 調査対象 在校生とその保護者（中学校 69名、高等学校 826名）

2 調査期間 生徒：2022年12月5日
保護者：2022年11月21日～12月9日
※ 回収率：中学校 生徒 95.7% 保護者 82.6%
高等学校 生徒 97.3% 保護者 68.5%

3 調査内容

1. 教育目標・方針、総合満足度に関して
2. 学習活動に関する領域（教育課程、教科指導、総合学習、国際交流）
3. 進路指導に関する領域（進学指導、進路相談）
4. 生徒指導に関する領域（特別活動、生活指導、教育相談、安全・健康、環境美化）
5. キリスト教教育に関する領域（礼拝、キリスト教行事、奉仕活動）
6. 教育活動全般に関する領域（危機管理、施設設備、ICT活用、情報提供）

※ 今年度より、質問項目の変更を行っています。質問項目の一部を統合・追加しています。

4 回答方法 「よくあてはまる、だいたいあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない」の4段階評価と「わからない」の項目を設定した。

5 集計方法 「よくあてはまる」4点、「だいたいあてはまる」3点、「あまりあてはまらない」2点、「あてはまらない」1点として平均値を算出した。3.5以上をS、3.0以上をA、平均である2.5以上をB、平均未満となる2.5未満をCとした。「わからない」は、評価判断ができないため、評価の集計からは除外した。

6 調査結果 次頁以降をご覧ください。

《お問い合わせ先》

総務部 松宮 正樹

☎ 022-264-5881 (代)

高等学校 全項目の平均値は、生徒：3.10(昨年度比+0.08)、保護者：3.11(同+0.01)でした。

| 高等学校 生徒アンケート | | | | | | | | |
|---------------|------------------|------|----|-----|-------------|------------------|------|----|
| 2022年度 | | | | | 2021年度 | | | |
| 肯定的な評価の高い項目 | | | | | 肯定的な評価の高い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 1 | 教科の質問への対応 | 3.40 | A | | 1 | 教科の質問への対応 | 3.49 | A |
| 2 | 校舎やグラウンドなどの施設 | 3.21 | A | | 2 | キリスト教行事の充実 | 3.44 | A |
| 2 | ICTの積極的活用 | 3.21 | A | | 3 | 健康管理や安全への配慮 | 3.21 | A |
| 4 | 教員・カウンセラーの教育相談 | 3.18 | A | | 4 | 担任の生徒理解 | 3.19 | A |
| 4 | 地域や地域住民との交流・連携 | 3.18 | A | | 5 | 学校から家庭への連絡・情報提供 | 3.16 | A |
| 肯定的な評価の低い項目 | | | | | 肯定的な評価の低い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 26 | 校則や決まりの順守 | 3.03 | A | | 31 | 国際交流プログラムの充実 | 2.83 | B |
| 27 | 総合的な探究の時間 | 2.98 | B | | 32 | 学校行事の充実 | 2.82 | B |
| 28 | 学校生活の全般的な満足 | 2.96 | B | | 32 | 建学の精神や教育目標への取り組み | 2.82 | B |
| 29 | 建学の精神や教育目標への取り組み | 2.93 | B | | 34 | 総合的な探究の時間 | 2.81 | B |
| 30 | 国際交流プログラムの充実 | 2.86 | B | | 35 | 毎朝の礼拝の充実 | 2.74 | B |
| 高等学校 保護者アンケート | | | | | | | | |
| 2022年度 | | | | | 2021年度 | | | |
| 肯定的な評価の高い項目 | | | | | 肯定的な評価の高い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 1 | 校庭やグラウンドなどの施設 | 3.45 | A | | 1 | 学校から家庭への連絡・情報提供 | 3.54 | S |
| 2 | 礼拝・キリスト教行事の充実 | 3.30 | A | | 2 | 校舎やグラウンドなどの施設 | 3.49 | A |
| 2 | ICTの積極的活用 | 3.30 | A | | 3 | 健康管理や安全への配慮 | 3.30 | A |
| 4 | 学校から家庭への連絡・情報提供 | 3.28 | A | | 4 | 校則や決まりの順守 | 3.28 | A |
| 5 | 校則や決まりの順守 | 3.26 | A | | 5 | 担任の生徒理解 | 3.26 | A |
| 肯定的な評価の低い項目 | | | | | 肯定的な評価の低い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 28 | 学校行事の充実 | 3.00 | A | | 34 | わかりやすい授業への工夫・改善 | 2.90 | B |
| 29 | 進路関係行事の充実 | 2.97 | B | | 35 | 生徒会行事の充実 | 2.87 | B |
| 30 | 学ぶ意欲を引き出す授業 | 2.92 | B | | 36 | 進路関係行事の充実 | 2.86 | B |
| 31 | 国際交流プログラムの充実 | 2.90 | B | | 37 | 国際交流プログラムの充実 | 2.78 | B |
| 32 | わかりやすい授業への工夫・改善 | 2.87 | B | | 38 | 学校行事の充実 | 2.72 | B |

(生徒アンケート)

昨年度に引き続き、「教科の質問対応」や「教育相談」「生徒理解」などクラス担任や教科担当者を中心とした丁寧な対応が評価されたと分析しています。「ICTの活用」も評価が高く、授業や連絡などでの活用が評価されたと思われます。また、「キリスト教行事」と「礼拝」に関する質問項目を統合した結果、3.13と中位の評価になりました。「健康管理」の順位低下については、コロナ禍による体調不良から欠席の増加や保健室の利用が増えていることなどが影響していると予測されます。一方、コロナ禍の中で活動が制限されている項目の評価が、引き続き低くなりました。しかしながら、評価の数値自体は改善しており、少しずつ行事やプログラムを再開しつつあることが影響していると思われます。来年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止に注意を払いながら、さらなる教育活動の推進に取り組んでまいります。

(保護者アンケート)

「施設」「礼拝・キリスト教行事」「連絡体制」は引き続き高い評価ですが、「連絡体制」「健康管理」の評価が下がっています。新型コロナ対応が特別なものから通常の対応に戻りつつある中、評価も従来のものに戻ったのではないかと分析しています。また、新しい質問項目である「ICTの活用」は、保護者の方にも概ね評価していただいていると分析しています。一方、評価の低い項目についても、全般的に評価の数値自体は改善しており、コロナ禍からの行事の再開や各部署での取り組みを評価していただいているのではないかと分析しております。授業改善の取り組み、各種行事に対する丁寧な報告やPTA・進路行事の充実など、保護者の皆様が安心できるような体制づくりに引き続き取り組んでまいります。

中学校 全項目の平均値は、生徒：3.37(昨年度比+0.07)、保護者：3.30(昨年度比+0.05)でした。

| 中学校 生徒アンケート | | | | | | | | |
|--------------|-----------------------|------|----|-----|-------------|------------------|------|----|
| 2022年度 | | | | | 2021年度 | | | |
| 肯定的な評価の高い項目 | | | | | 肯定的な評価の高い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 1 | 教科の質問への対応 | 3.74 | S | | 1 | 教科の質問への対応 | 3.69 | S |
| 2 | 校庭やグラウンドなどの施設 | 3.68 | S | | 2 | キリスト教行事の充実 | 3.66 | S |
| 3 | 模擬試験・各種検定・講習会・自律学習の充実 | 3.52 | S | | 3 | 校舎やグラウンドなどの施設 | 3.59 | S |
| 4 | 教員・カウンセラーの教育相談 | 3.51 | S | | 4 | 健康管理や安全への配慮 | 3.51 | S |
| 5 | 礼拝・キリスト教行事の充実 | 3.50 | S | | 5 | 学校から家庭への連絡・情報提供 | 3.50 | S |
| 肯定的な評価の低い項目 | | | | | 肯定的な評価の低い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 26 | 目標や目的を持って学校生活を送る | 3.17 | A | | 31 | 毎朝の礼拝の充実 | 3.08 | A |
| 27 | いじめの早期発見への取り組み | 3.16 | A | | 32 | 学校生活の全般的な満足 | 3.07 | A |
| 28 | 部活動の充実 | 3.14 | A | | 33 | いじめの早期発見への取り組み | 3.05 | A |
| 29 | 建学の精神や教育目標への取り組み | 3.13 | A | | 34 | 建学の精神や教育目標への取り組み | 3.00 | A |
| 30 | 校則や決まりの順守 | 3.00 | A | | 35 | 校則や決まりの順守 | 2.58 | B |
| 中学校 保護者アンケート | | | | | | | | |
| 2022年度 | | | | | 2021年度 | | | |
| 肯定的な評価の高い項目 | | | | | 肯定的な評価の高い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 1 | 校舎やグラウンドなどの施設 | 3.55 | S | | 1 | 学校から家庭への連絡・情報提供 | 3.67 | S |
| 2 | 健康管理や安全への配慮 | 3.51 | S | | 2 | 校舎やグラウンドなどの施設 | 3.65 | S |
| 3 | 礼拝・キリスト教行事の充実 | 3.48 | A | | 3 | キリスト教行事の充実 | 3.49 | A |
| 4 | 環境美化への取り組み | 3.46 | A | | 4 | 健康管理や安全への配慮 | 3.47 | A |
| 5 | 教科の質問への対応 | 3.39 | A | | 5 | 問題解決への機敏な対応 | 3.46 | A |
| 肯定的な評価の低い項目 | | | | | 肯定的な評価の低い項目 | | | |
| 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 | 昨年比 | 順位 | 調査項目 | 平均 | 評価 |
| 28 | 学校行事の充実 | 3.18 | A | | 34 | 保護者からの電話や訪問の対応 | 3.07 | A |
| 28 | 教員・カウンセラーの教育相談 | 3.18 | A | | 35 | 生徒会行事の充実 | 3.02 | A |
| 30 | 保護者対象プログラムの充実 | 3.10 | A | | 36 | 学校行事の充実 | 2.98 | B |
| 31 | 進路関係行事の充実 | 3.06 | A | | 37 | 国際交流プログラムの充実 | 2.97 | B |
| 32 | 部活動の充実 | 3.00 | A | | 38 | 進路関係行事の充実 | 2.95 | B |

(生徒アンケート)

全体的に評価の数値が上昇しました。項目別にみると昨年度とほぼ同様の傾向がみられました。全般的に高校よりも評価が高く、「教科の質問対応」や「教育相談」「連絡体制」などクラス担任や教科担当者を中心とした丁寧な対応が評価されたと分析しています。また「模試・検定・自律学習」の項目が上昇しており、学力向上に向けての取り組みが評価・浸透しつつあると分析しています。一方、生活指導に関わる部分の評価が相対的に低くなっていますが、それぞれの項目における評価の数値自体は上昇しており、それぞれ改善の取り組みが評価された結果ではないかと分析しています。コロナ禍で様々な活動が制限される中、生徒たちがより充実した学校生活を送ることができるように一層取り組んでいくとともに、引き続き丁寧な生活指導や生徒理解に努めてまいります。

(保護者アンケート)

全体的に評価の数値が上昇しましたが、項目別にみると上位と下位の評価の数値差が狭まりました。昨年度とほぼ同様の傾向がみられますが、「健康管理」の項目が上昇しました。感染防止対策における担任保健室の指導に評価をいただいたと分析しています。一方、下位の項目について、評価の数値自体は上昇していますが、部活動の支援体制やキャリア教育、保護者対象プログラムなどの充実に取り組んでいく必要があると考えています。また、コロナ禍の中で中止・縮小を余儀なくされている行事やプログラムの引き続き可能な範囲で再開していく予定です。

※ 結果の詳細については、尚綱学院中学校高等学校の web ページに後日公開いたします。